

# ポピヨドンフィールド®10%綿棒

10%ポピドンヨード液含浸綿棒 エタノール含有



## 特徴

- 日局無菌試験に適合した製剤です。
- グラム陽性菌・陰性菌、真菌、結核菌及びHBV・HIVを含む一部のウイルスに有効です。
- 殺菌作用は迅速でかつ、持続効果を発揮します。
- エタノールを含有しているため、速乾性と塗布性が向上しました。
- 携帯に便利です。
- 薬液使用量の無駄がありません。
- 開封後すぐ使用できますので在宅医療にも適しています。



**ポピドン®フィールド10%綿棒は10<sup>W</sup>%ポピドンヨードエタノール液を綿棒に含浸させた製剤で、院内における10<sup>W</sup>%ポピドンヨードエタノール液含浸綿棒作製の作業時間及びコストの削減を可能にした医療用医薬品です。**

## 有効性

### 各種細菌・真菌に対する殺菌効果

ポピドン®フィールド10%綿棒について、各種細菌および真菌(酵母)に対する殺菌力試験を行った。その結果、グラム陽性菌、グラム陰性菌、酵母においては30秒で殺菌された。

供試菌株		殺菌時間
グラム陽性菌	<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC6538	30秒
	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA) CI	30秒
	<i>Staphylococcus epidermidis</i> JCM2414	30秒
	<i>Enterococcus faecalis</i> JCM5803	30秒

CI：臨床分離株

供試菌株		殺菌時間
グラム陰性菌	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC15442	30秒
	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> CI	30秒
	<i>Escherichia coli</i> ATCC10536	30秒
	<i>Serratia marcescens</i> JCM1239	30秒
	真菌(酵母)	<i>Candida albicans</i> ATCC10231

社内資料：ポピドンフィールド10%綿棒の生物学的同源性資料

## 外用殺菌消毒剤

薬価基準未収載

無菌医薬品

# ポピドン®フィールド10%綿棒

Popiyodon Field 10% cotton stick ●10%ポピドンヨード液含浸綿棒

効能・効果、用法・用量、使用上の注意等の改訂にご留意下さい。



手術部位の皮膚

貯法：直射日光を避けて  
室温保存  
使用期限：3年(外箱等に記載)

日本標準商品分類番号	872612
承認番号	21700AMZ00819000
薬価収載	薬価基準未収載
販売開始	2006年7月

## 組成・性状

### 1. 組成

成分・含量	本溶液1mL中ポピドンヨード100mg(有効ヨウ素として10mg)
担体	綿棒
添加物	エタノール、ヨウ化ナトリウム、pH調整剤
含浸量	綿棒1本あたり本溶液2mL

### 2. 製剤の性状

本溶液は黒色褐色の液で、特異なおいがある。

## 効能・効果

手術部位(手術野)の皮膚の消毒

## 用法・用量

本剤を塗布する

## 使用上の注意

### 1. 慎重投与(次の患者には慎重に使用すること)

- 本剤又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者
- 甲状腺機能に異常のある患者[血中ヨウ素の調節ができず甲状腺ホルモン関連物質に影響を与えるおそれがある。]

### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。(再審査対象外)

#### (1) 重大な副作用

ショック、アナフィラキシー(呼吸困難、不快感、浮腫、潮紅、蕁麻疹等)(0.1%未満)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

#### (2) その他の副作用

種類、頻度	0.1%未満
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹等
皮膚	接触皮膚炎、癢痒感、灼熱感、皮膚潰瘍、皮膚変色
甲状腺	血中甲状腺ホルモン値(T <sub>3</sub> 、T <sub>4</sub> 値等)の上昇あるいは低下などの甲状腺機能異常

注) 症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

### 3. 臨床検査結果に及ぼす影響

酸化反応を利用した潜血試験において、本剤が検体に混入すると偽陽性を示すことがある。

### 4. 適用上の注意

#### (1) 使用部位

- ア) 損傷・創傷皮膚及び粘膜には使用しないこと。  
(エタノールを含有するため刺激作用を有する。)
- イ) 経口投与しないこと。

#### (2) 使用時

- ア) 大量かつ長時間の接触によって接触皮膚炎、皮膚変色があらわれることがあるので、溶液の状態では長時間皮膚と接触させないこと。(本溶液が手術時に体の下にたまった状態や、ガーゼ・シーツ等にしみ込み湿った状態で、長時間皮膚と接触しないよう消毒後は拭き取るか乾燥させるなど注意すること。)
- イ) 眼に入らないように注意すること。入った場合は、水でよく洗い流すこと。
- ウ) 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落としてから使用すること。
- エ) 電気的な絶縁性をもっているため、電気メスを使用する場合には、本溶液が対極板と皮膚の間に入らないように注意すること。
- オ) エタノールを含有しているため、電気メスを使用する場合には、本剤を乾燥させ、エタノール蒸気の拡散を確認してから使用すること。特にドレープ(覆い布)等の使用時には、本剤が液状として残ったり、ドレープ下に気化したエタノール蒸気が充満することで、引火しやすくなるおそれがある。

### 5. その他の注意

ポピドンヨード製剤を新生児に使用し、一過性の甲状腺機能低下を起こしたとの報告がある。

## 取扱い上の注意

- 綿棒や薬液を継ぎ足して使用しないこと。
- 綿に指が触れないよう注意すること。
- 衣類については水で容易に洗い落とせる。また、チオ硫酸ナトリウム溶液で脱色できる。

## 包装

規格	調剤包装単位コード	販売包装単位コード
1本入り×50	(01)04987288014034	(01)14987288014109

2015年7月改訂



ヨシダ製薬

製造販売元

吉田製薬株式会社

埼玉県狭山市南入曽951

【製品情報サイト】 <http://www.yoshida-pharm.jp/>

資料請求先

吉田製薬株式会社  
東京都中野区中央5-1-10  
Tel: 03-3381-2004

⑤1806KK  
400066  
2016年6月改訂